

## 知的障害者の心理・生理・病理

《担当者名》近藤 尚也 n-kondo@hoku-iryo-u.ac.jp

### 【概要】

知的障害のある生徒の知的障害の要因となる病理面や併存症・合併症と心理面及び生理面の特徴やそれらの相互作用について説明する。また、生徒一人一人の知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を理解するとともに、家庭や関係機関との連携や社会生活について解説する。

### 【学修目標】

知的障害の要因となる病理面や併存症・合併症と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解し、生徒一人一人の知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を把握することを理解するとともに、家庭や医療機関との連携について理解する。

到達目標:

- 1) 知的発達の遅れ及び適応行動の困難さの要因となる病理面や併存症・合併症と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解している。
- 2) 観察や検査を通して知的障害のある生徒一人一人の知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を把握することを理解している。
- 3) 家庭や医療機関との連携の重要性について理解している。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	知的障害の概念	知的障害の概念や生理面、病理面から分類・類型について理解する。	近藤
2	知的障害の生理的理解	知的障害に関して生理面の視点から支援がイメージできる。	近藤
3	知的障害と関連する疾患	病理面や併存症・合併症の視点から、てんかん・ダウン症、自閉症等の関連する疾患について概要を理解する。	近藤
4	心理機能の概要と知覚・認知	心理面における知的障害の感覚・知覚・認知特性の特性とそれに関わる家庭・医療等の関係機関との連携について理解する。	近藤
5	知的障害と記憶	心理面における知的障害の記憶や注意機能の特性について理解する。	近藤
6	知的障害と言語	知的障害の言語・コミュニケーションの特性とそれに関わる家庭・関係機関との連携について理解する。	近藤
7	知的障害と学習・問題解決	知的障害における学習と問題解決の支援方法の特性について理解する。	近藤
8	知的障害と動機づけ、運動	知的障害における動機づけと運動動作の特性について理解する。	近藤
9	心理検査の概要	様々な心理検査の概要について知る。	近藤
10	心理検査法の理解1	知能検査の概要とその活用について知る。	近藤
11	心理検査法の理解2	発達検査の概要とその活用について知る。	近藤
12	行動の理解と支援1	観察等を通して知的障害の特性から対人関係・社会性等の二次的障害についてイメージができる。	近藤
13	行動の理解と支援2	心理・生理・病理特性に配慮した地域生活や就労等の自立生活のイメージができる。	近藤
14	知的障害を支える連携	家庭や医療機関、福祉サービス等との連携について理解する。	近藤
15	まとめ	全体の総括	近藤

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

定期試験（筆記試験）（100％）により評価する。  
試験については原則学生に対し個別に振り返りを行う。

**【教科書】**

知的障害児の心理・生理・病理 [第2版] 勝二 博亮 編著 北大路書房（2023）

**【参考書】**

特別支援児の心理学 理解と支援（新版）梅谷 忠勇/生川 善雄/堅田 明義 北大路書房（2015）  
その他必要に応じて提示する。

**【学修の準備】**

今回の授業のテーマについて教科書該当箇所を読み予習しておくこと（2時間）。授業内容を参考に教科書・資料を用いて復習を行うこと（2時間）。分からない点などについては、授業の際に質問すること。

**【免許法施行規則に定める科目区分等】**

「特別支援教育領域に関する科目」の「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目」に該当する。  
中心となる領域：知的障害者 含む領域：なし

**【実務経験】**

社会福祉士

**【実務経験を活かした教育内容】**

障害福祉サービス事業所での実務経験をもとに知的障害者の心理特性と生理・病理について講義する。